

平成24年2月15日

## 「讃岐ジオパークをめざすシンポジウム」の開催について

讃岐平野に浮かぶ讃岐富士等の美しい里山とサヌカイト等の里山の火山岩類を活用した旧石器時代から続く多様な石の文化は、世界に誇る自然遺産と文化遺産です。また、この里山を作った1400万年前の瀬戸火山活動の研究から最先端のマグマ学が誕生しました。香川大学では、世界のマグマ学の第一人者の巽好幸博士を招いて、シンポジウムと巡検（地質見学会）を開催します。讃岐の里山から世界の讃岐ジオパークをめざしませんか？

### 【讃岐ジオパークをめざすシンポジウム】

日時：平成24年3月3日（土）13:30～16:50

会場：高松テルサ大会議室

内容：基調講演「サヌカイトはなぜできたのか—マグマ成因論の最前線—」巽好幸博士（海洋研究開発機構）  
パネルディスカッション「讃岐ジオパークをめざして」

定員：100名

参加費：無料、駐車場あり

### 【屋島巡検】

日時：平成24年3月4日（日） 9:20集合、15:00解散予定

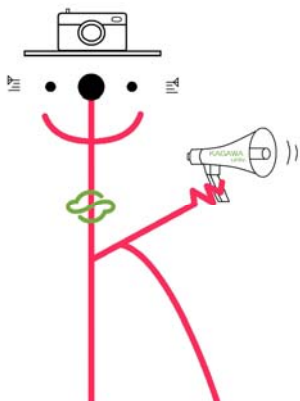
集合場所：屋島山頂 南嶺駐車場 山頂売店無料休憩所前

講師：巽好幸博士（海洋研究開発機構） ・長谷川修一（香川大学）

定員：先着30名（傷害保険のため事前申込必要）

参加費：無料（ただし、宝物館の入場料は自己負担、弁当持参）

備考：本事業は香川大学平成23年度研究振興総合推進事業「地域貢献推進経費」による支援を受けています。



- 問い合わせ先 「讃岐ジオパークに向けたガイド資料の作成と地域連携の推進」研究グループ

香川大学 工学部・長谷川修一

TEL：087-864-2155 FAX：087-864-2188

E-mail：hasegawa@eng.kagawa-u.ac.jp

讃岐富士とため池



名勝 小豆島寒霞渓



# 讃岐ジオパークをめざす シンポジウム

平成24年**3月3日(土)**

会場 高松テルサ大会議室 (定員100名)

- 時間 13:30-16:50
- 入場無料, 駐車場あり

史跡・天然記念物 屋島



宝永地震で山の形を変えた五剣山



## プログラム

- 13:30-13:35 開会挨拶 板野 俊文 (香川大学理事)
- 13:35-13:45 来賓挨拶
- 13:45-14:10 ●活動報告 長谷川 修一 (香川大学工学部教授)
- 14:10-15:10 ●特別講演  
**巽 好幸 博士** (海洋研究開発機構プログラムディレクター)  
**サヌカイトはなぜできたのか?—マグマ成因論の最前線—**
- 15:30-16:40 ●パネルディスカッション「讃岐ジオパークをめざして」  
 コーディネーター : 長谷川 修一 (香川大学工学部教授)  
 パネリスト : 巽 好幸 (海洋研究開発機構プログラムディレクター)  
 柴田 伊廣 (室戸ジオパーク推進協議会)  
 中俣 保志 (香川短期大学准教授)  
 藤川 武人 (讃岐ジオサイトをジオパークに登録する会)  
 前田 宗一 (香川県経済同友会副代表幹事)
- 16:40-16:50 閉会挨拶 寺林 優 (香川大学工学部教授, 香川大学博物館館長)



巽 好幸 氏

海洋研究開発機構地球内部変動研究センター  
 地球内部ダイナミクス領域プログラムディレクター

1954年大阪生まれ、マグマ学者

著書には、  
 「安山岩と大陸の起源 (東京大学出版会)」  
 「沈み込み帯のマグマ学 (東京大学出版会)」  
 「地球の中心で何がおこっているのか 地殻変動のダイナミズムと謎 (幻冬舎新書)」  
 「いちばんやさしい地球変動の話 (河出書房新社)」などがある。

- 【主催】香川大学「讃岐ジオパークに向けたガイド資料の作成と地域連携の推進」研究グループ
- 【共催】香川大学博物館, 讃岐ジオサイトをジオパークに登録する会
- 【後援】香川県, 香川県教育委員会, 高松市, 高松市教育委員会, 四国新聞, NHK高松放送局, RNC西日本放送, KSB瀬戸内海放送, 香川県経済同友会, 日本地質学会四国支部, 日本応用地質学会中国四国支部

### お問い合わせ

香川大学工学部安全システム建設工学科 長谷川, 鶴田  
 TEL : 087-864-2155, FAX: 087-864-2188  
 E-mail : tsuruta@eng.kagawa-u.ac.jp



平成24年3月3日(土)

# 讃岐ジオパークをめざす シンポジウム

13:30-13:35 開会挨拶 板野 俊文 (香川大学理事)

13:35-13:45 来賓挨拶

13:45-14:10 ●活動報告 長谷川 修一 (香川大学工学部教授)

14:10-15:10 ●特別講演

サヌカイトはなぜできたのか？—マグマ成因論の最前線—

巽 好幸 博士 (海洋研究開発機構プログラムディレクター)

15:30-16:40 ●パネルディスカッション

「讃岐ジオパークをめざして」

コーディネーター : 長谷川 修一 (香川大学工学部教授)

パネリスト : 巽 好幸 (海洋研究開発機構プログラムディレクター)

柴田 伊廣 (室戸ジオパーク推進協議会)

中俣 保志 (香川短期大学准教授)

藤川 武人 (讃岐ジオサイトをジオパークに登録する会)

前田 宗一 (香川県経済同友会副代表幹事)

16:40-16:50 閉会挨拶 寺林 優 (香川大学工学部教授, 香川大学博物館館長)

## 会場 高松テルサ大会議室



\* シンポジウムは申込者優先です。

平成24年3月4日(日)

# 屋島巡検

【集合場所】9:20 屋島山頂 南嶺駐車場 山頂売店無料休憩所前

【スケジュール】

9:20 南嶺駐車場出発

9:50-10:00 ①讃岐岩質安山岩の板状節理

10:20-10:30 ②北嶺の遊鶴亭 (讃岐岩質安山岩の板状節理)

10:50-11:10 ③屋島洞窟 (讃岐岩質安山岩の崖と火山礫凝灰岩の洞窟)

11:40-12:40 ④北嶺の広場 (昼食)

13:00-13:40 ⑤屋島寺の雪ノ庭 (流紋岩質凝灰岩の起源)

13:50-14:00 ⑥屋島寺山門付近 (讃岐岩質安山岩起源の赤色土)

14:20-14:40 ⑦屋島登山道の畳石 (讃岐岩質安山岩の板状節理)

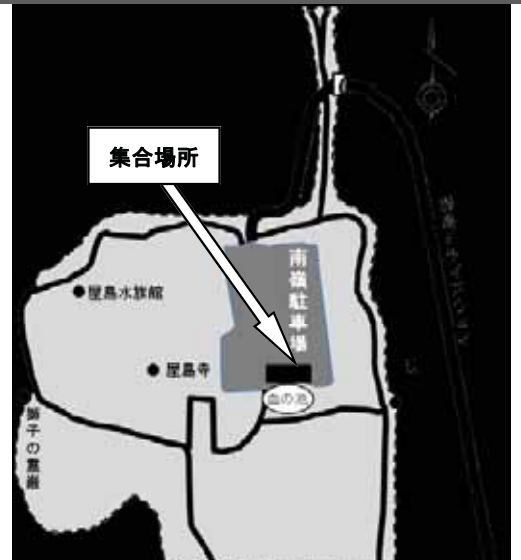
15:00 南嶺駐車場着、解散

【講師】巽 好幸 (海洋研究開発機構) ・ 長谷川 修一 (香川大学工学部)

【参加費】無料 (屋島寺宝物館の入場料は自己負担お願いします。)

【定員】先着30名 \* 巡検は事前の申込みが必要です。

【その他】弁当持参, 歩きやすい格好でお越し下さい。



お申込みの際は、必要事項を記入の上、  
E-mailまたはFAXでご連絡下さい。

## シンポジウム及び屋島巡検参加申込書

所属	氏名	3月3日 シンポジウム に参加	3月4日 巡検に 参加	電話番号	E-mail または FAX
		参加希望日に ○をつけてください。			

※切: 平成24年2月27日 (月)

【連絡先】 香川大学工学部安全システム建設工学科 長谷川, 鶴田

TEL: 087-864-2155, FAX: 087-864-2188

E-mail: tsuruta@eng.kagawa-u.ac.jp